

「皮膚癌のリンパ節の転移における超音波検査の有用性」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年11月2日～2019年3月31日

〔研究課題〕

皮膚癌のリンパ節の転移におけるエラストグラフィーの有用性

〔研究目的〕

皮膚癌においてリンパ節転移の有無は予後を左右するため非常に重要です。これまでは、外科的に切除して検査しないと転移かどうかわかりませんでした。超音波検査は体に無害であり、簡単に検査ができます。また、超音波検査のエラストグラフィーという組織の硬さを評価できる機能があります。今回、エラストグラフィーが癌のリンパ節転移の有無の評価に有用であるか検討します。

〔研究意義〕

超音波検査で癌のリンパ節転移がわかれば、不必要なリンパ節生検などの侵襲的な検査は必要なくなる可能性があります。これによって、手術の数も減り患者にとっても負担が少なくなる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2014年8月～2018年4月までの間に帝京大学医学部皮膚科で皮膚癌のリンパ節生検やリンパ節郭清を受けた患者さんが対象となります。生検や郭清前に施行した超音波検査エラストグラフィー結果と切除後の病理検査を集め比較して、エラストグラフィーの硬い領域の割合によって転移の有無が予測できるかどうかをROC曲線などを用いて検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 皮膚科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には匿名化を行うため、患者さんが特定されることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

研究分担者： 助教 田中隆光、講師 鎌田昌洋、准教授 大西誉光、助教 石川武子、助手 福安厚子、
臨床助手 林耕太郎、員外助手 深谷早希

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211

(代表) [内線 32610]